

第2期草津市スポーツ推進計画策定に向けて

1 策定の目的

平成28年に草津市スポーツ推進計画を策定し、5年間で計画期間(平成28年度～令和2年度)として、具現化に向け様々な取り組みを進めてまいりましたが、今回、策定から5年が経過するにあたり、2024年に滋賀県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を控え、スポーツ推進の絶好の機会と捉えるとともに、国内や県内の社会動向等を踏まえ、第2期草津市スポーツ推進計画を策定します。

2 検討・調査項目

○基礎調査 上位計画等の整理 スポーツ関連施策の現状把握	○市民意識調査 アンケート調査の実施 ○問題点や課題の整理・分析
○市民・スポーツ団体意識調査 アンケート調査・ヒアリングの実施	○第2期スポーツ推進計画の内容に関する検討 施策の方向性、施策項目の検討、目標指標の検討
○審議会の開催(5回)	

3 スケジュール(予定)

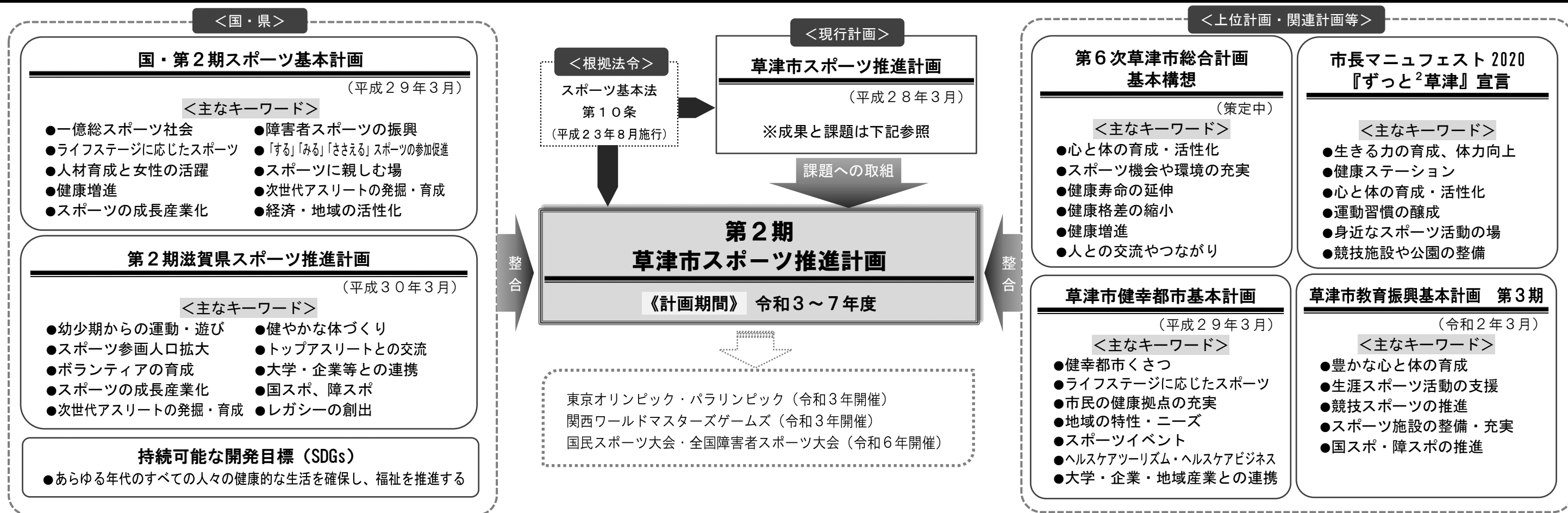
回数	日程	主な内容
第1回 審議会	令和2年6月29日	<ul style="list-style-type: none"> 第2期草津市スポーツ推進計画の諮問 計画策定に向けたスケジュールについて 市民・スポーツ団体等アンケート調査について
市民・小中・各種スポーツ関係団体アンケート調査(7月上旬～7月下旬)		
第2回 審議会	令和2年8月____日 (第4週目)	<ul style="list-style-type: none"> 市民・スポーツ団体等アンケート調査結果について 第2期草津市スポーツ推進計画の骨子について
第3回 審議会	令和2年10月 (第1週目)	<ul style="list-style-type: none"> 第2期草津市スポーツ推進計画の素案について
第4回 審議会	令和2年11月 (第1週目)	<ul style="list-style-type: none"> 第2期草津市スポーツ推進計画(案)の答申について パブリックコメントの実施について
パブリックコメント		
第5回 審議会	令和3年3月 (第4週目)	<ul style="list-style-type: none"> 第2期草津市スポーツ推進計画の策定

4 第2期草津市スポーツ推進計画策定にかかる審議会について

第2期草津市スポーツ推進計画策定にあたり、草津市スポーツ推進審議会において計画策定に向けて、それぞれの立場で御意見や審議いただきながら計画を策定していきますので、御協力くださいますようお願いいたします。

第2期草津市スポーツ推進計画 策定の考え方（概要）

◆策定の背景・位置づけ



◆これまでの成果と課題

現行計画の基本方針

1 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進	2 生涯スポーツ活動の推進	3 地域コミュニティによるスポーツの推進	4 競技スポーツの推進	5 スポーツ環境の充実
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 小・中学校体力向上プロジェクトの短時間運動プログラムやダンス教室、ジュニアスポーツフェスティバル等により子どもの体力向上を図ることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 子どもの体力とともに、運動好きの割合を高める必要がある。 ▶ 幼保、学童、スポ少、プロスポーツ等の連携により、市域全体で、子どもの体力向上に取り組む必要がある。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ スポレク、チャレンジスポーツデー、ウォーキングイベントなど、運動機会の創出に取り組むとともに、健幸都市として健康増進アプリや健幸宣言賛同企業の増加にも取り組んだ。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 若い世代のスポーツ実施率が低いことから、効果的なアプローチや意識づけ、スポーツ実施率向上に向けた具体的な取組について検討が必要である。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ スポーツ推進委員協議会や学区体育振興会、くさつ健・交クラブなど各種団体の活発な活動により、地域でスポーツができる環境が充実した。 ▶ 学区まちづくり協議会の健幸宣言により、健康増進の取組が拡大した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 担い手の高齢化が進んでいることから、良い取組を次代につなぐ必要がある。 ▶ 優良事例の把握と全体化が必要である。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 草津市スポーツ協会の活動強化のため人員体制強化に取り組んだ。 ▶ スポーツ協会、各競技団体、指定管理者と連携し、プロスポーツ選手と連携したスポーツ教室や子ども向け体験教室を実施した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 競技力向上に向けた取組や、国スポ・障スポに向けた次代のアスリート育成について、何をしていくべきか検討が必要である。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ YMIT アリーナを整備するとともに、競技用プール整備や社会体育施設整備を計画した。 ▶ ウェブページによりスポーツ情報や施設予約状況が閲覧できるよう、情報発信を充実するなど、利便性向上に努めた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 国スポ・障スポに向け、着実にハード整備を進めていくことが必要である。 ▶ ネット予約の検討、施設・備品の更新など、快適な施設利用に向けた改善と、社会的ニーズの高いグラウンドゴルフ場の検討なども必要である。

◆第2期計画の基本方針と施策展開のイメージ（たたき台）

第2期計画
基本理念

第1期計画の理念や柱立てを活かしながら、近年の国・県・市の動向を踏まえ、また、令和6年国スポ、障スポ滋賀県大会を見据え、第2期計画の方向性を考える参考として、たたき台を作成しました。

1 子どもの体力向上と
スポーツ活動の推進

【目標】 ○○○○○○

目標値（令和*年度）
○○○○○

- 乳幼児・児童の運動（遊び）の推進
- 学校体育の充実
- 運動クラブ・部活動の充実
- スポーツ少年団活動の充実
- スポーツ障害の予防

2 生涯スポーツ活動の推進

【目標】 ○○○○○○

目標値（令和*年度）
○○○○○

- 身近なスポーツイベントの充実
- スポーツを通じた健康づくりの推進
- ライフステージに合わせた健康づくりの推進
- 「する」「みる」「ささえる」スポーツの参加促進（新規）
- 食育による健康づくりの推進
- 体育振興会活動の充実
- 総合型地域スポーツクラブ活動の活性化

3 競技スポーツの推進

【目標】 ○○○○○○

目標値（令和*年度）
○○○○○

- スポーツ協会活動の充実
- スポーツ少年団活動の充実 ※再掲
- 各種大会出場者への支援
- 障害者スポーツの推進
- 国スポ・障スポ、各種競技大会の推進（拡大）
- 国スポ・障スポ等にむけた将来を担うアスリートの育成（拡大）

4 スポーツ環境の充実

【目標】 ○○○○○○

目標値（令和*年度）
○○○○○

- 指導者の育成・ボランティア機会の充実
- スポーツ推進委員活動の推進
- 新たなスポーツ情報発信システムの構築
- 社会体育施設等の整備・充実
- 誰もが利用しやすい運動のできる場の整備（新規）
- 学校体育施設開放の充実
- 企業等管理施設の有効活用

5 スポーツによる
地域の活性化（新規）

【目標】 ○○○○○○

目標値（令和*年度）
○○○○○

- 各種関係団体との連携強化
- 大学や企業等との連携強化
- スポーツツーリズムの促進（新規）
- スポーツ観戦機会の充実
- スポーツを通じた交流促進
- 国スポ・障スポを契機とするスポーツレガシーの創出（新規）

令和6年（2024年）国民スポーツ大会、障害者スポーツ大会滋賀県大会の推進に向けて

それぞれの柱の中にある、国スポ、障スポの実施に受けた取組や、国スポ、障スポ後のレガシー創出に向けた取組を再掲します。

第2期計画の策定に向けての考え方

1. 草津市スポーツ推進計画策定後の動き

(1) 国の取り組み

「第2期スポーツ基本計画」(2017.3)	[計画期間：2017～2021年度]
-----------------------	--------------------

◆中長期的なスポーツ政策の基本方針

～ スポーツが変える。未来を創る。 Enjoy Sports, Enjoy Life ～

1. スポーツで『人生』が変わる！
スポーツで人生を**健康で生き生き**としたものに
2. スポーツで『社会』を変える！
共生社会、健康長寿社会の実現、**経済・地域の活性化**に貢献
3. スポーツで『世界』とつながる！
多様性を尊重する世界、**持続可能で逆行に強い**世界、**クリーンでフェア**な世界に貢献
4. スポーツで『未来』を創る！
人々がつながる国民運動を展開し、レガシーとして「**一億総スポーツ社会**」の実現

◆第2期計画のポイント

- ◇**スポーツの価値**を具現化し発信。スポーツの枠を超えて異文化と積極的に連携・協働。
- ◇**数値を含む成果指標**を第1期計画に比べ大幅に増加。
- ◇**障害者スポーツの振興、スポーツの成長産業化**など、スポーツ庁創設後の重点施策を盛り込む。

◆今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策

1 スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ参加人口の拡大と、そのための人材育成・場の充実	(1) スポーツ参加人口の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ●若年期から高齢期までライフステージに応じたスポーツ活動の推進 ●学校体育をはじめ子供のスポーツ機会の充実による運動習慣の確保と体力の向上 ●ビジネスパーソン、女性、障害者のスポーツ実施率の向上と、これまでスポーツに関わってこなかった人へのはたらきかけ
	(2) スポーツ環境の基盤となる「人材」と「場」の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツに関わる多様な人材の育成と活躍の場の確保 ●総合型地域スポーツクラブの質的充実 ●スポーツ施設やオープンスペース等のスポーツに親しむ場の確保 ●大学スポーツの振興
2 スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現	(1) スポーツを通じた共生社会等の実現	<ul style="list-style-type: none"> ●障害者スポーツの振興等 ●スポーツを通じた健康増進 ●スポーツを通じた女性の活躍促進
	(2) スポーツを通じた経済・地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツの成長産業化 ●スポーツを通じた地域活性化
	(3) スポーツを通じた国際社会の調和ある発展への貢献	
3 国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備		<ul style="list-style-type: none"> ●中長期の強化戦略に基づく競技力強化を支援するシステムの確立 ●次世代アスリートを発掘・育成する戦略的な体制等の構築 ●スポーツ医・科学、技術開発、情報等による多面的で高度な支援の充実 ●トップアスリート等のニーズに対応できる拠点の充実
4 クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの価値の向上		<ul style="list-style-type: none"> ●コンプライアンスの徹底、スポーツ団体のガバナンスの強化及びスポーツ仲裁等の推進 ●ドーピング防止活動の推進

(2) 県の取り組み

「第2期スポーツ基本計画」(2018.3)	[計画期間：2018～2022年度]
-----------------------	--------------------

◆目指す姿

— スポーツで滋賀を元気に！滋賀の未来を創る！ —

すべての県民が身近にスポーツを楽しみ、自ら進んで参画し、互いに連携・協働することを通じて、市が県民であることに誇りを感じて、幸福で豊かな生活を営むことができる共生社会の実現

◆ポイント

- 県民の**競技力の向上**
- 年齢や障害のあるなしにかかわらず、県民がスポーツに**参加できる機会の増加**、**運動を生活に取り入れる**ライフスタイルの定着
- 「する」だけでなく「みる」「支える」**楽しみ方の拡大**
- 元気な**地域づくり**につなげる

◆基本方針・政策・展開方策

基本方針	政策	展開方策
I スポーツの力で「豊かで健やかな生活」を創る！	1 生涯にわたるすべての県民のスポーツ活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 県民総スポーツの機会づくりの推進 ● 幼児期からの運動（遊び）・スポーツ活動の充実 ● 小・中学校における体育・保健体育の授業の充実 ● 中学・高校における運動部活動の活性化 ● 障害のある人の参加機会の拡大 ● 女性の参加機会の拡大 ● 中高年の運動習慣定着化の推進
	2 スポーツの持つ多様な価値の共有	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツの持つ多様な価値の発信 ● トップアスリートとの交流機会の創出 ● スポーツイベント等におけるボランティア活動の応援・促進
II スポーツの力で「元気な地域」を創る！	3 スポーツ施設・環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域スポーツクラブの育成 ● スポーツ少年団の育成 ● 公共スポーツ施設等の活用・充実 ● 琵琶湖などの自然を活かしたスポーツの推進
	4 スポーツを通じた連携・協働による地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域とスポーツ団体との連携・協働の推進 ● 大学・企業等とスポーツ団体との連携・協働の推進 ● スポーツイベント、トップアスリート等を活かした地域の活性化 ● スポーツの成長産業化
III スポーツの力で「感動の滋賀」を創る！	5 国体・全国障害者スポーツ大会等に向けた競技力向上と競技者の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ● 選手の育成・強化 ● 指導体制の充実 ● 強化拠点の構築・環境の整備
	6 地域の特性を活かした大会レガシーの創出	<ul style="list-style-type: none"> ● 大会運営等のノウハウの継承 ● スポーツボランティア活動の取組

(3) 市の関連計画における運動・スポーツに係る施策等

「第6次草津市総合計画 基本構想」(策定中) [計画期間: 2021~2032年度]

◆まちづくりの基本目標(抜粋)

学校教育

- 将来を担う次世代が、思いやりを持って人とつながり、自らの個性を伸ばしながら、確かな学力や豊かな人間性、しなやかでたくましい心と体など、人生を切り拓くための基礎・基本となる“**生きる力**”を身につけられるよう学校教育の充実を図ります。

スポーツ

- 誰もが心身ともに健やかな生活を送ることができ、人との交流やつながりのある豊かなスポーツライフを楽しむことができるよう、スポーツ機会の充実や環境づくりを進めます。

健康

- 誰もが健康で長生きできるまちを目指し、市民の健康増進や疾病予防・重症化予防等を進めるとともに、地域の主体的な健康づくりを支援し、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を図ります。

子ども

- 子どもや若者が、**多様な人々との関わりや支え、様々な経験**を通じて、自ら未来を切り開き、自分らしく生きることができるまちづくりを進めます。

長寿

- **健康寿命の延伸**に向けて、高齢期の健康づくりや介護予防の取組を充実させるとともに、就労やボランティア活動、コミュニティ活動など**高齢者の社会参加を促進**する取組の充実を図ります。

商工観光

- 産業の高度化と活力ある都市づくりのため、支援機関・大学等研究機関と連携し、**新産業の創出**等を促進します。

◆基本理念

目指せ、健幸都市くさつ！！

～住む人も、訪れる人も、健幸になれるまちを目指して～

◆計画の体系

基本方針	基本施策	施策の内容 ※○レベルの取組は抜粋
まちの 健幸づくり	①出かけたくなるまち づくり	(1)歩いて暮らせるまちづくり (2)安全・安心に配慮した公共空間の整備 ○ 自転車道のネットワーク化 や安全利用の取組の推進（環境 や 健康に優しい 自転車の安全で安心な利用を促進） (3)賑わい・うるおいの向上に向けたまちの環境づくり
	②交流機会や 健康拠点 の充実	(1)交流機会の充実 (2) 健康拠点としての草津川跡地公園 や各地域の公園の管理 ○ 草津川跡地公園 の整備（多面的な機能を持つ「 市民の健康 拠点 」としての活用） ○草津川跡地公園でのウォーキング等を中心とした 健康イ ベントの実施 ○児童公園等の再整備（ 子どもの遊び場 や 大人の健康づくり など、 地域のニーズに応じたリニューアル ）
ひとの 健幸づくり	① 地域の主体的な健康 づくりの推進	(1) 地域の特性に応じた健康づくり ○各まちづくり協議会の 健幸宣言実現 に向けた取組の推進 (2)支え合いのコミュニティづくり
	② 個人の健康づくりの 推進	(1) 全世代に共通した健康づくり ○ くさつ健幸ポイント制度 ○飲食店等と連携した健康づくり ○健幸ウォークの開催 (2) ライフステージに応じた健康づくり ○働く世代の健康増進 ○高齢者の 社会参加・生涯活躍社会の構築 に向けた取組の推 進
しごとの 健幸づくり	① 地域産業と連携した 健康産業の活性化	(1) ヘルスツーリズムを含むヘルスケアビジネス の育成支援 ○ヘルスケア産業の可能性の研究 ○ヘルスツーリズムの開発 ○「 ビワイチ 」の推進 (2)特産物を活かした 健康な食 等の推進 ○飲食店等と連携した健康づくり（再掲）
	② 大学・企業等との連 携	(1) 産学公民連携 とその仕組づくり ○ 企業版健幸宣言 の推進と 企業連携 ○立命館健康分野 産学連携 COI プロジェクト との連携 (2) 健康に関する情報提供

◆基本理念

子どもが輝く教育のまち・出会いと学びのまち・くさつ

◆施策の基本方向と基本項目

基本方向	基本項目・基本施策(抜粋)
1 子どもの生きる力を育む	<p>① 豊かな心と健やかな体の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 就学前教育の充実 (自然との触れ合いや体験活動等) ○ 健やかな体づくりの推進 (体力向上、体育・部活動の充実、運動に関心を持ちスポーツに親しむためのスポーツ環境の充実等) <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「運動やスポーツをすることは好き」と答えた児童生徒の割合
2 学校の教育力を高める	② 確かな学力の育成
	③ 教職員の指導力の向上
	④ 学校経営の充実
3 社会全体で学びを進める	⑤ 教育環境の充実
	<p>⑥ 家庭・地域での学びの充実</p> <p>⑦ 生涯学習・スポーツの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市民の 生涯スポーツ活動の支援 (地域スポーツ活動の推進、健康づくり事業の展開、市民団体の育成・支援等) ○ 競技スポーツの推進 (団体の育成・支援、アスリートの育成、プロスポーツ団体の活動支援等) ○ 社会体育施設の整備・充実 ○ 第79回 国民スポーツ大会・第24回 全国障害者スポーツ大会の推進 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習・スポーツの充実に満足している市民の割合 ・ 社会体育施設利用者の満足度
4 歴史と文化を守り育てる	⑧ 文化・芸術の振興
	⑨ 文化財の保存と活用

政策1 ずっと²安心 <草津の子育て・教育・福祉政策>

- ◆ **未来を担う人材づくり、子どもの教育環境**の一層の充実を図ります
 - 学力・体力の向上と、生きる力の育成

- ◆ 健康でいきいきと暮らせる「**健幸都市**」の**取り組みをさらに**進めます
 - 健康遊具を身近な公園に設置し、気軽な**健康づくり環境の整備**
 - **健康ステーション**の設置
 - いきいき百歳体操など**心も体も活性化**できる取り組みの推進

政策2 ずっと²活力 <草津の産業・交通・地域・文化・女性の活躍政策>

- ・ 地域に**豊かな学び**を創ります（文化・芸術・**スポーツ**）
 - 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会向けの**スポーツ競技施設の整備**
 - **専用グラウンドゴルフ場**を設け、**身近にスポーツ活動の場**を設定
 - 健康のための**運動習慣の醸成**

政策3 ずっと²安全 <草津の防災・防犯・環境政策>

- ・ **都市公園の整備**を進めます
 - 野村公園、草津川跡地公園、野路公園の整備推進

2. 国、県のスポーツ施策及び市の関連計画等から抽出されるキーワード

●子どもの生きる力の育成

心と体の育成、学校体育・部活動の充実、幼少期の運動・遊び

●健康づくり

心と体の活性化、運動習慣の定着、健康寿命の延伸、健康格差の縮小、
地域の特性・ニーズ

●生涯スポーツ

ライフステージに応じたスポーツ、
スポーツ参画人口拡大（ビジネスパーソン（働く世代）、女性、障害者、中高年）

●共生社会

障害者スポーツ振興、健康増進、女性の活躍

●競技力の向上

次世代アスリートの発掘・育成、プロスポーツ団体の支援

●環境整備

人材育成（指導者、ボランティア、市民団体の育成・支援）、
場所整備（市民の健康拠点、スポーツ競技施設、身近にスポーツに親しむ場、
健康ステーション、自転車道、自然を活かしたスポーツ）

●連携・協働

大学・企業・地域産業との連携、トップアスリートとの交流、スポーツイベント、
ボランティアの育成

●スポーツを通じたまちづくり

地域の活性化、楽しみ方の拡大（みる・支える）、人との交流やつながり、
スポーツの成長産業化、ヘルスケアツーリズム、ヘルスケアビジネス

●レガシーの創出

ワールドマスタースゲーム関西(2021)、滋賀国スポ・全国障害者スポーツ大会(2024)、
一億総スポーツ社会

3. 第2期計画の柱立て（たたき台）

(1) 考え方

- 子どもの体力向上やYMITアリーナの整備など、これまでの成果を受け継ぎ、中長期的な視点での更なる積み上げを目指して、現行計画の継承を基本とする
- 国、県、市の関連計画を反映し、必要な項目を盛り込み再整理を行う

(2) 柱立て (案)

